

白石町長
コラム
Vol.110

「不易流行」

よき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって

「理想」を創造する

10年目を迎えた「学園議会」

秋も深まり、奥大山の紅葉が美しい季節となりました。さて、今回は、江府町の未来を担う子どもたちの活動、「学園議会」についてご紹介いたします。

この取り組みは、平成29年1月19日、江府中学校の生徒による「中学生議会」として初めて開催されました。当初から生徒たちは熱心に一般質問を行い、行政に対する関心の高さを示してくれました。

特に、平成30年からは、アントレプレナーシップ(起業家精神)教育を体験し、その成果として「未来をつくるアイデア」をスキット形式で提案するスタイルが確立しました。

遊び心に富んだ「奥大山天然かき氷」や、地域課題解決を目指す「空き家クリーン・リペア大作戦」など、彼らの柔軟な発想にはいつも驚かされます。一般社団法人i・c・l・u・b様のご協力のもと、この創造的な提案方法は現在まで受け継がれています。

令和4年4月に義務教育学校「奥大山江府学園」が開校したことに伴い、議会の名称も「学園議会」と改められました。そして先日、10月22日、記念すべき10回目となる「学園

議会」が開催されました。

今回の質問は、全てが町の重要な資源である「水」をテーマにしたものであり、回を重ねるごとに、生徒たちの地域課題への洞察が深まっていることを実感しました。

これまでの10回で、提案された質問・アイデアは実に43項目に上ります。中には「桜・銀杏のライトアップ」、「奥大山天然かき氷」、「オンスタ☆」のように既に実現したもの、「ブルーベリーベリーBIGマウンテンパフェ」のように企画が進行中のものもあり、子どもたちの声

が着実に町の形を変えています。何より心強いのは、「先輩が提案したアイデアを、後輩が引き継いで実現させる」という、世代を超えた素晴らしい連携の流れが生まれていることです。

子どもたちが自ら撒いた未来の種が、着実に芽吹き、実を結び始めていることを肌で感じています。行政は、これからこの「学園議会」を通じて、未来を担う子どもたちの主体性を尊重し、その斬新なアイデアを町の活力へと変えていく努力を続けてまいります。皆様も、ぜひ温かい目で見守り、応援をお願いします。

これまでのコラムはこちら！



これまでのコラムは二次元コードを読み取ることでご覧いただけます。

気をつけよう
消費者トラブルフリマサービスで買ったブランド品が偽物？
～個人間取引です。取引ルールは必ず確認を～

FAKE

相談事例

フリマサービスでブランド品のバッグを5万円で購入。1週間後届いたバッグに正規品であれば付いているはずのシリアルナンバーが見当たりません。偽物ではなかと思い出品者に「偽物だと思うので、返品したい」とメッセージを送りましたが、出品者から「本物です」と主張され、返品に応じてくれず、「早く評価をして」と催促されています。どうしたらいいの？

アドバイス

- フリマサービスでは、ブランド品の偽物や正規品と確証がない商品の出品を制限しているなどルールを定めています。偽物と思われる商品が出品されていた場合は、すぐにフリマアプリの事務局に申し出ましょう。
- フリマサービスは、個人間取引です。原則出品者と購入者の双方でトラブルの解決を図る必要があります。取引ルールをもとに、対応を検討し、出品者から「評価の」催促をされても、評価せず話し合しましょう。対応に困った場合は、フリマアプリの事務局に協力を求めましょう。
- 購入前に、事前に出品者に質問し取引するかどうか判断する等、トラブル回避対策も大切です。

○消費生活相談員による相談窓口

令和7年12月17日(水) 午前9時～午後4時(毎月第3水曜日)

場所：江府町役場本庁舎1階相談室

※日野郡3町は、第1～第3水曜日に輪番で相談員が対応します。

○通常の相談窓口

平日：江府町役場住民生活課(電話：0859-75-3223)

土日：消費者ホットライン「188」(案内に従い、お住まいの郵便番号を押すとお近くの相談窓口につながります)

【消費者ホットライン】188
局番なしのいやや